

森林組合系統職員を対象とした「森林情報管理実践研修」の開催について

～森林組合系統の取組みへの新たなサポート

- 1 森林組合系統は、平成 17 年の第 25 回全国森林組合大会にて決議した運動方針「環境と暮らしを支える森林・林業・山村再生運動」において、一つの柱として「施業共同化プロジェクト」を定め、組合員の山林の現況把握・地域森林情報の集積を進めてきました。また、平成 22 年 10 月に決議された次期運動方針「国産材の利用拡大と森林・林業再生運動」においても、提案型集約化施業の重点実施を掲げており、その中で、境界明確化・森林情報のデータベース構築を図っているところです。
- 2 当金庫といたしましては、森林組合系統の取組みをサポートするため、経営安定化計画における森林・林業にかかる機能強化策として、組合員の山林の現況把握・地域森林情報の集積に必要となる GIS・GPS 等の導入費用の助成を実施しているところです。
- 3 一方、農林水産省において平成 21 年 12 月に「森林・林業再生プラン」が公表され、昨年 11 月末に基本政策の最終とりまとめがなされました。この中で、施業集約化・所有者の合意形成・森林経営計画(仮称)の作成が森林組合の最優先の業務と位置づけられており、今後、森林組合が GIS・GPS 等をより高度・効率的に活用していく必要性が一層高まっています。
- 4 このような状況の中、当金庫は、森林・林業にかかる機能強化策として、境界明確化、施業集約化、安定供給へとつながる森林組合系統の取組みを新たに支援するため、森林組合職員・森林組合連合会職員を対象にした研修会を別紙のとおり開催することといたしました。
- 5 なお、当金庫は、平成 17 年に「公益信託 80 周年森林再生基金」を設定し、荒廃した民有林の再生に取り組んでおります。昨年までに実施された第 1～5 回助成対象事業の募集では、全国から 192 件の応募があり、22 件（421 百万円）に対して支援を行いました。
また、森林・林業への機能強化の一環として、昨年 11 月～12 月にかけて、全国森林組合連合会との連携により「J-プランナー研修」を実施し、受講者は 133 名を数えました。

当金庫は、これら諸施策を通じまして、引き続き、森林組合系統の取組みをサポートしてまいります。

平成 23 年 1 月 26 日

農林中央金庫**森林情報管理実践研修の概要について****1 開催場所・開催日時**

(1) 全国研修：下記のとおり（平成 22 年度において 1 回限り。）。

開催場所	開催日時（予定）
丸高ビル 4 階会議室 （〒104-0061 東京都中央区銀座 6-16-12）	平成 23 年 2 月 9 日（水） 13 時 30 分～17 時 00 分 ～平成 23 年 2 月 10 日（木） 9 時 00 分～16 時 00 分

各森林組合連合会へは、本研修の事務委任先である全国森林組合連合会より平成 22 年 12 月 24 日付で参加案内を発出しています。

(2) 地域研修：全国研修実施後、平成 23 年 2 月以降に全国数ブロックで研修会を行う予定です。

2 研修実施期間

全国研修・地域研修とも 1 泊 2 日。

3 開催目的

森林組合系統の職員を対象に GIS・GPS 等を活用した境界明確化・境界情報管理等の各種森林組合業務について、基礎知識から実際の操作までの研修を実施し、森林組合系統の取組みのサポートを行います。

4 研修主催者

主催者：農林中央金庫

なお、全国森林組合連合会に本事業の運営・設営事務等を委任しております。

5 研修対象者

全国研修：GIS・GPS 等の有用性に関する指導や導入推進、導入後のフォローアップに携わる各都道府県森連のご担当者を予定しています。

地域研修：主に森林組合職員（森林組合連合会職員も含む。）を予定しています。

6 研修内容

全国研修：GIS・GPS 等の基礎知識、活用事例報告、パネルディスカッション、GPS 等現地操作研修、GIS 操作研修、意見交換等を実施します。

地域研修：研修内容は全国研修のカリキュラムを基本とし、地域における研修ニーズに応じた内容となるよう構成します。

以 上

【本件プレスリリースに関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 広報部 平井・長谷川（TEL 03-5222-2017）